

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類に対して有害であるヘテロシグマ・アカシオが最大5,500細胞/ml、ケラチウム属が最大47細胞/ml、シャットネラ属が最大1細胞/ml確認されました。ヘテロシグマ・アカシオについては、漁業被害が想定される注意基準を超えているので、十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

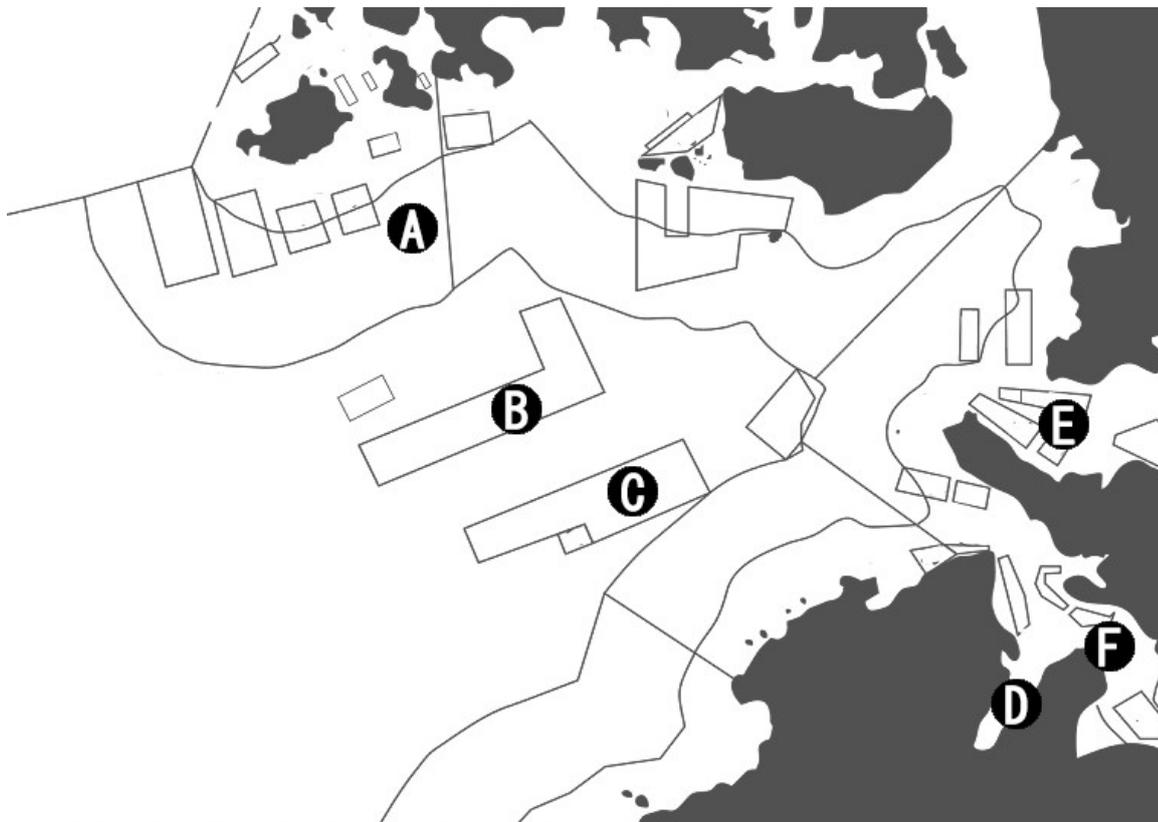
調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	シャットネラ 属	ケラチウム 属	クロロディニウム・ ポリクリコイデス
	(m)	(°C)		(mg/L)				
A 藻津 (-/36.5m) 【14:02】	0	26.2	28.6	9.5	1,400	0	4	0
	★ 2	26.2	28.6	9.6	1,650	0	10	0
	5	24.4	32.6	9.4	1,675	0	4	0
	10	23.9	33.6	7.3	175	0	0	0
	15	23.4	33.8	6.6	-	-	-	-
	20	21.7	34.0	6.5	-	-	-	-
B 大島中央 (-/33.1m) 【14:21】	0	25.6	31.4	7.8	625	0	10	0
	★ 5	24.6	33.0	8.1	575	0	0	0
	10	23.8	33.7	7.1	350	0	0	0
	15	23.0	33.8	6.3	-	-	-	-
C 小筑紫中央 (-/48.6m) 【14:36】	0	25.6	31.2	8.3	1,150	0	7	0
	★ 2	25.1	31.8	8.4	1,200	1	9	0
	5	24.4	33.3	7.9	600	0	2	0
	10	23.9	33.8	7.0	125	0	0	0
	15	23.1	33.9	6.6	-	-	-	-
	20	21.7	34.0	6.6	-	-	-	-
D 栄喜奥 (-/13.3m) 【15:02】	0	26.2	26.8	9.7	53	0	0	0
	2	24.9	30.2	9.5	567	0	2	0
	★ 5	24.5	32.6	8.1	43	0	36	0
	10	24.3	33.2	7.5	5	0	53	0
E ヒロウラ (-/24.3m) 【15:27】	0	25.9	16.7	9.6	7	0	0	0
	4	24.6	31.7	9.6	9	0	0	0
	★ 5	24.4	33.1	8.8	3	0	2	0
	10	24.0	33.6	7.8	0	0	18	0
	15	23.9	33.7	6.9	-	-	-	-
	20	23.3	33.8	6.4	-	-	-	-
F 青瀬山 (-/15.3m) 【15:11】	0	26.2	21.8	9.3	0	0	0	0
	★ 1	25.8	24.8	9.3	125	0	15	0
	5	24.5	32.4	8.5	7	0	47	0
	10	24.2	33.6	7.6	1	0	26	0
	15	23.8	33.7	6.7	-	-	-	-

【参考】ヘテロシグマ・アカシオ細胞数(田ノ浦：最大5,500細胞/ml、池島：最大875細胞/ml)

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp)においてもご覧いただけます。



A: 藻津 D: 栄喜奥
 B: 大島中央 E: ヒロウラ
 C: 小筑紫中央 F: 青瀬山

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrioides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—	—	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	0.5 cells/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。